

はままつ



〈重点教育目標〉「わかる できる つかえる 伝わる」を実感できる子の育成

八雲町浜松239 TEL62-2462 FAX62-3190

学校HP: <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/hamamatsu-es/>

令和6年12月2日



浜松に笑顔あふれる学芸会

教務部 教諭 村岡 佑亮

朝夕の凍てつく寒さを感じる季節がやって参りました。浜松小学校の子供たちは寒さに負けず、休み時間にアリーナを走り回ったり、ドッジボールをしたりして体を動かして元気に過ごしています。寒くなり免疫力が低下して感染症になりやすい季節となるので、暖かい服装や十分な睡眠、バランスの取れた食事等の感染症予防に、ご家庭でも協力していただければ幸いです。

さて、10月26日(土)の学芸会から早くも一ヶ月が経ちました。今年度の学芸会のテーマは「輝け！全員が主役！浜松に笑顔あふれる学芸会にしよう！」でした。今年も全校児童5名一人ひとりが力を発揮し、協力し合うことができた学芸会となりました。

はじめの言葉では5年生の児童が担当しました。「勝手にしやがれ」の曲に合わせて呼びかけをしたり、踊ったりして会場を盛り上げてくれました。

全校劇では「妖精眼鏡」という劇を発表しました。人数が限られた中での発表であったため、1人2～3役を担当して演じました。練習では、ゆっくりはっきり大きな声でセリフを言うことや場面が盛り上がり伝わったりするように身振り手振りを工夫することを意識して練習をしてきました。本番は一人ひとりが堂々と発表していて、全員が主役になることができた全校劇となりました。

全校音楽では、合唱で「友達賛歌」という歌を歌い、会場に響き渡る大きな声で元気に発表することができました。器楽合奏ではCreepyNutsの「Bling-Bang-Bang-Born」という曲を5名が息を合わせて演奏し、演奏の途中でダンスを踊って盛り上げました。練習では曲を演奏することに必死になり、表情がかたくなっていたのですが、本番では笑顔で楽しそうに発表することができました。また、各学年の発表合奏では、普段の音楽の授業で学習して学んだことを発表することができました。保護者の皆様や地域の方、そして子供たち自身が笑顔になることができた発表となりました。

おわりの言葉は、6年生の児童が担当しました。来場してくれた方々に感謝の気持ちを伝え、最高学年として学芸会の締めくくりにふさわしい挨拶をしてくれました。

数週間の中で子供たちは互いに励まし合い、協力して練習に取り組んできました。また、保護者の方をはじめ、地域の方々が楽しんだり、感動したりすることができる学芸会になるよう工夫をしてきました。学芸会のテーマにもあるように、子供たちは一人ひとりが輝いていて、主役になることができた学芸会だったと思います。子供たちだけでなく、浜松地域の皆様も笑顔溢れる学芸会になっていれば嬉しく思います

今回の学芸会に際し、保護者の皆様にもいろいろとご協力いただき、ありがとうございました。また、温かい拍手や声援をありがとうございました。



はじめの言葉



全校劇
「妖精眼鏡」



全校器楽
「Bling-Bang-Bang-Born」



おわりの言葉

